

2014/06/02

第68回日本栄養・食糧学会大会で コラーゲンペプチドの機能性研究成果発表

2014年5月30日、6月1日に開催された第68回日本栄養・食糧学会大会でコラーゲンペプチドの機能性研究成果 4 演題を発表しました。

① コラーゲンペプチドの糖尿病予防サプリメントとしての可能性 摂南大学 理工学部 生命科学科 講師 居場嘉教 先生との共同発表

【要旨】 弊社製コラーゲンペプチドは、in vitroにおいて血糖値上昇抑制のキーとなる酵素(DPP-IV)の阻害活性およびインスリン分泌を増強するホルモン(GLP-1)の分泌促進作用を示し、動物実験においても血糖値上昇抑制作用を示したことから、糖尿病予防サプリメントとして有用である可能性が示された。

② コラーゲンペプチドによる血糖値上昇抑制作用におけるインクレチンの関与 摂南大学 理工学部 生命科学科 講師 居場嘉教 先生との共同発表

【要旨】 動物実験結果より、ブドウ糖負荷と弊社製コラーゲンペプチドの同時投与による血糖値上昇抑制作用の少なくとも一部は、インスリン分泌を増強するホルモンであるインクレチン(GLP-1)を介することが明らかとなった。

③ 骨芽細胞に直接作用する新規コラーゲンオリゴペプチドの探索 城西大学 薬学部 医療栄養学科 教授 真野博 先生との共同発表

【要旨】 弊社製コラーゲンペプチド投与後に血中移行するペプチドGlu-Hyp-Glyは、培養骨芽細胞の分化促進作用を示し、新規生理活性コラーゲンオリゴペプチドの1つである可能性が高いと考えられた。

④ Glu-Hyp-Glyが破骨細胞の分化に与える影響 城西大学 薬学部 医療栄養学科 教授 真野博 先生との共同発表

【要旨】 弊社製コラーゲンペプチド摂取後に血中に移行するペプチドGlu-Hyp-Glyは、培養破骨細胞の分化に対して促進させる作用を示した。